

平成28年度 調査研究テーマ 一覧

大 分 類	目 的	小 分 類 (個別研究テーマ)	研究代表者	分 担 者
【大テーマ】(1) 南海トラフ地震に関する調査研究	南海トラフ地震への県民のさらなる「わがこと感」の醸成や、地震発生直後の迅速な津波避難など、県民自らによる防災行動につなげるため、自然科学的、歴史学的手法や、被害想定結果などの素材を用いて、南海トラフ地震に関する発生メカニズムや地震像、被害像などを「見える化」する。	地震・津波の観測情報の活用に関する研究	川口 淳	葛葉泰久, 高橋成実, 水木千春, 防災対策部防災企画・地域支援課 班長
		南海トラフ地震の被害想定から見たリスクの高い区域の設定に関する研究	川口 淳	松本一彦, 伊藤文善, 水木千春, (以下, 氏名未定)防災対策部防災企画・地域支援課, 市町担当者, 学部生
		南海トラフに関わる地震のメカニズム解明に関わる研究	葛葉泰久	木村武志
		歴史的手法を用いた東南海地震像に関する研究	水木千春	川口 淳, 宮岡邦任, 奥野真行
		過去の被災履歴から見た市街地形成の変遷に関する研究	水木千春	松浦健治郎, 川口 淳
【大テーマ】(2) 風水害像の『見える化』に関する調査研究	台風接近時等における早めの避難など、県民自らによる防災行動につなげるため、科学的知見に基づく風水害に対する県内各地域の脆弱性を明らかにする手法や歴史学的手法などを用いて、地域に起こり得る風水害像を「見える化」する。	風水害危険度の視覚化に関する研究	葛葉泰久	
		(土砂災害の危険度の視覚化に関する研究) 土石流流体力による木造家屋被災程度と人的被害,垂直避難有効区域の関係	山田 孝	
		DEMデータによる熊野酸性岩斜面崩壊の検討	酒井俊典	
【小テーマ】(1) 大規模災害発生後の各フェーズにおける災害時要援護者支援に関する調査研究	地震発生直後の迅速な津波避難支援や、災害が長期化する中での災害関連死リスクを軽減するための災害時要援護者支援策について研究する。	災害時要配慮者の地域における支援を目指した指導マニュアル作成に向けた取り組み	磯和勅子	平松万由子, 北川亜希子, 服部由佳, 川口 淳
【小テーマ】(2) 津波浸水深と建築構造に関する調査研究	津波浸水深に応じて津波に耐える建築構造を考察する。津波浸水深と建築構造別の被害関係を検証し、津波浸水深ごとの津波による外力を考慮した建築構造を検討する。	建物の構造種別・規模および構造計画が耐津波性能及ぼす影響に関する研究 ～三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針における津波浸水深と建物被害の関係把握の一考察～	川口 淳	竹原圭祐(M1)